

2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月11日

上場会社名 株式会社 AKIBAホールディングス
 コード番号 6840 URL <https://www.akiba-holdings.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 馬場 正身
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 五十嵐 英

TEL 03-3541-5068

四半期報告書提出予定日 2019年11月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	5,381	14.0	263		256		478	
2019年3月期第2四半期	4,721	30.6	2		1		38	

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 491百万円 (%) 2019年3月期第2四半期 30百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	521.32	
2019年3月期第2四半期	42.04	

(注) 2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	5,864	1,640	26.0	1,657.14
2019年3月期	5,112	1,149	20.4	1,135.20

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 1,522百万円 2019年3月期 1,042百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		0.00	0.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,500	9.5	500	16.4	500	17.2	580	136.8	631.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 0 社 (社名) 、 除外 0 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	919,256 株	2019年3月期	919,256 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	656 株	2019年3月期	513 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	918,662 株	2019年3月期2Q	918,894 株

(注)2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、良好な雇用・所得環境を受けて、引き続き緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、国際情勢においては米中貿易摩擦による中国景気の悪化、英国のEU離脱問題といったリスクを背景に世界景気の減速懸念が強く、先行き不透明な状況で推移いたしました。

そのような状況において当社グループは、引き続き、各種の施策を推進して内部管理体制の強化を図るとともに、各事業セグメントにおいて新規案件の獲得、業務管理体制の強化、人材採用の強化等に取り組んでおります。当社グループのビジネスは、第4四半期にかけて売上が集中する傾向にあり、下期での収益拡大並びに業務効率の向上による利益の増大に向けて、引き続き、既存事業の推進や社内体制の強化に努めてまいります。また、当社グループの経営資源配分の最適化を目的として、「通信コンサルティング事業」を営んでいた連結子会社である株式会社モバイル・プランニングの全株式を2019年9月30日付で売却いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、5,381百万円（前年同期比14.0%増）、営業利益は263百万円（前年同期は2百万円の営業損失）、経常利益は256百万円（前年同期は1百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は478百万円（前年同期は38百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① メモリ製品製造販売事業

メモリ製品製造販売事業においては、新規案件及び新規販路の開拓、並びにIoTソリューション事業の推進に努めるほか、ミナトホールディングス株式会社との業務提携による新規取組の検討を進めております。Windows7のサポート終了に伴うPCの切替需要の獲得もあり、PCメーカー向けのメモリの販売は引き続き堅調に推移し、また、原価率が低減したことにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,173百万円（前年同期比4.1%増）、営業利益は62百万円（前年同期は2百万円の営業利益）となりました。

② ウェブソリューション事業

ウェブソリューション事業は、ウェブソリューション事業を展開していた株式会社エッジクルーの事業を2019年7月1日付で株式会社バディネットに移管したために、第2四半期連結会計期間以降、報告セグメント上のウェブソリューション事業は廃止しております。しかしながら、第1四半期連結累計期間まで、ウェブソリューション事業は存続していたことから、セグメント情報においては当該期間の業績を記載いたします。第1四半期連結累計期間までは、売上高は16百万円、営業損失は1百万円となりました。

③ 通信コンサルティング事業

通信コンサルティング事業においては、外注先等との連携の強化、業務効率の向上、継続案件の獲得、積極採用による人員増強に努めております。また、コールセンター事業においては業務拡大に伴う運用キャパシティの確保のため、センターを移転いたしました。通信キャリア向け通信建設工事においては既存プロジェクトが引き続き順調に推移するほか、新規プロジェクトを7月から開始するなど、事業規模が大幅に拡大しております。また、Wi-Fiレンタル事業及びMVNO事業も引き続き好調に推移し、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,718百万円（前年同期比55.0%増）、営業利益176百万円（前年同期は0百万円の営業利益）となりました。

④ HPC事業

HPC事業においては、社内の業務管理体制を整備して生産性の向上に努めるほか、受注の増加に対応する技術力の強化、業容拡大のための採用の強化にも取り組んでおります。前期は売上拡大のために一部低粗利の案件も手掛けましたが、今期は生産性と効率の向上により利益率が改善しており、当第2四半期連結累計期間の売上高は520百万円（前年同期比5.4%減）、営業利益56百万円（前年同期比150.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は5,706百万円となり、前連結会計年度末4,883百万円と比べ822百万円増加いたしました。

主な増減要因は、現金及び預金の増加958百万円、受取手形及び売掛金の減少445百万円、商品及び製品の増加208百万円であります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は157百万円となり、前連結会計年度末228百万円と比べ71百万円減少いたしました。

主な増減内訳は、のれんの減少29百万円であります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は3,663百万円となり、前連結会計年度末3,611百万円と比べ52百万円増加いたしました。

主な増減内訳は、買掛金の減少36百万円、短期借入金の増加208百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加12百万円、1年内償還予定の社債の増加16百万円であります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は560百万円となり、前連結会計年度末352百万円と比べ207百万円増加いたしました。

主な増減内訳は、長期借入金の増加147百万円、社債の増加64百万円であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は1,640百万円となり、前連結会計年度末1,149百万円と比べ491百万円増加いたしました。

主な増減内訳は、利益剰余金の増加478百万円であります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）残高は、前連結会計年度末に比べ955百万円増加し、2,525百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、70百万円（前年同期は106百万円の減少）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益621百万円、売上債権の減少344百万円といった増加要因があった一方で、関係会社株式売却益365百万円、たな卸資産の増加242百万円、法人税等の支払額149百万円等の減少要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の増加は433百万円（前年同期は7百万円の減少）となりました。主な要因は、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入382百万円、保険積立金の解約による収入79百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は451百万円（前年同期は393百万円の増加）となりました。主な原因は、短期借入金の純増加252百万円、長期借入れによる収入330百万円、長期借入金の返済による支出169百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年9月19日に公表いたしました業績予想から修正はございません。詳細につきましては、2019年11月11日付「2020年3月期第2四半期連結業績予想と実績の差異に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,577,870	2,536,842
受取手形及び売掛金	2,381,693	1,935,987
商品及び製品	654,815	863,069
仕掛品	24,114	57,814
原材料	113,064	114,008
その他	142,420	201,154
貸倒引当金	△10,045	△2,212
流動資産合計	4,883,932	5,706,664
固定資産		
有形固定資産		
建物	12,195	17,773
減価償却累計額	△2,305	△2,937
建物(純額)	9,890	14,835
工具、器具及び備品	115,775	118,765
減価償却累計額	△100,200	△101,970
工具、器具及び備品(純額)	15,575	16,794
有形固定資産合計	25,465	31,630
無形固定資産		
のれん	29,126	—
その他	6,111	7,286
無形固定資産合計	35,237	7,286
投資その他の資産		
長期未収入金	76,185	73,267
その他	164,387	116,579
貸倒引当金	△72,361	△71,138
投資その他の資産合計	168,210	118,708
固定資産合計	228,913	157,626
資産合計	5,112,846	5,864,290

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,009,097	972,410
短期借入金	1,905,332	2,114,000
1年内返済予定の長期借入金	267,378	280,328
1年内償還予定の社債	—	16,000
未払法人税等	132,801	99,834
賞与引当金	53,276	42,771
役員賞与引当金	14,000	—
その他	229,193	138,277
流動負債合計	3,611,079	3,663,621
固定負債		
長期借入金	315,653	463,193
社債	—	64,000
退職給付に係る負債	27,167	28,508
資産除去債務	1,074	3,120
その他	8,526	1,303
固定負債合計	352,420	560,124
負債合計	3,963,499	4,223,746
純資産の部		
株主資本		
資本金	700,000	700,000
資本剰余金	471,824	471,824
利益剰余金	△127,665	351,250
自己株式	△1,199	△1,716
株主資本合計	1,042,959	1,521,358
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	—	892
その他の包括利益累計額合計	—	892
非支配株主持分	106,387	118,293
純資産合計	1,149,347	1,640,544
負債純資産合計	5,112,846	5,864,290

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	4,721,919	5,381,241
売上原価	4,186,079	4,457,983
売上総利益	535,839	923,257
販売費及び一般管理費	538,075	659,523
営業利益又は営業損失(△)	△2,236	263,734
営業外収益		
受取利息	31	125
為替差益	—	7,238
受取家賃	876	4,177
営業支援金収入	11,370	224
保険解約返戻金	—	34,546
雑収入	2,420	486
営業外収益合計	14,697	46,799
営業外費用		
支払利息	3,825	6,049
為替差損	8,664	—
支払手数料	—	6,810
役員退職慰労金	—	40,000
雑損失	1,117	1,290
営業外費用合計	13,608	54,149
経常利益又は経常損失(△)	△1,147	256,383
特別利益		
関係会社株式売却益	—	365,576
特別利益合計	—	365,576
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,147	621,960
法人税、住民税及び事業税	34,962	133,369
法人税等調整額	△3,644	△2,231
法人税等合計	31,318	131,138
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△32,465	490,822
非支配株主に帰属する四半期純利益	6,165	11,906
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△38,631	478,916

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△32,465	490,822
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	1,584	892
その他の包括利益合計	1,584	892
四半期包括利益	△30,881	491,714
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△37,047	479,808
非支配株主に係る四半期包括利益	6,165	11,906

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,147	621,960
減価償却費	5,440	5,499
のれん償却額	9,197	9,197
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,469	△645
賞与引当金の増減額(△は減少)	7,553	△4,535
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,974	1,341
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	—	△14,000
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△365,576
保険解約返戻金	—	△34,546
受取利息及び受取配当金	△31	△125
支払利息	3,825	6,049
為替差損益(△は益)	△1,392	△1,580
売上債権の増減額(△は増加)	46,358	344,225
たな卸資産の増減額(△は増加)	24,632	△242,898
仕入債務の増減額(△は減少)	△116,916	10,988
未収入金の増減額(△は増加)	△30,567	△81,657
前渡金の増減額(△は増加)	1,974	△5,825
長期未収入金の増減額(△は増加)	3,000	2,917
未払金の増減額(△は減少)	△3,006	△20,319
未払費用の増減額(△は減少)	△8,387	△5,930
前受金の増減額(△は減少)	1,261	2,019
未収消費税等の増減額(△は増加)	13,757	7,511
未払消費税等の増減額(△は減少)	△1,075	△20,930
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	164	5,238
その他	72	7,555
小計	△46,781	225,932
利息及び配当金の受取額	6	125
利息の支払額	△4,080	△6,351
法人税等の還付額	4,842	—
法人税等の支払額	△60,517	△149,493
営業活動によるキャッシュ・フロー	△106,531	70,212

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△775	△11,410
無形固定資産の取得による支出	△125	△2,010
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	382,802
敷金及び保証金の差入による支出	△125	△1,741
貸付けによる支出	—	△10,000
定期預金の預入による支出	△2,000	△5,500
定期預金の払戻による収入	—	2,400
保険積立金の積立による支出	△4,868	△366
保険積立金の解約による収入	—	79,438
その他	140	75
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,755	433,686
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	284,000	252,000
短期借入れによる収入	—	10,000
短期借入金の返済による支出	—	△50,000
長期借入れによる収入	220,000	330,000
長期借入金の返済による支出	△110,706	△169,510
社債の発行による収入	—	80,000
自己株式の取得による支出	—	△517
財務活動によるキャッシュ・フロー	393,294	451,972
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	279,009	955,871
現金及び現金同等物の期首残高	1,016,281	1,569,868
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,295,291	2,525,740

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 2.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 1.
	メモリ製品 製造販売 事業	ウェブソリ ューション事業	通信コンサル ティング事業	HPC事業	小計		
売上高							
外部顧客へ売上高	3,045,638	30,040	1,095,948	550,291	4,721,919	—	4,721,919
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	2,347	—	12,985	—	15,332	△15,332	—
計	3,047,986	30,040	1,108,933	550,291	4,737,252	△15,332	4,721,919
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	2,272	△12,262	284	22,558	12,853	△15,089	△2,236

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失は四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. セグメント利益の調整額△15,089千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△119,842千円及びその他調整額104,753千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。その他調整額は、主にセグメントに帰属しない持株会社に対する経営指導料等の消去であります

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 2.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 1.
	メモリ製品 製造販売 事業	ウェブソリ ューション事業	通信コンサル ティング事業	HPC事業	小計		
売上高							
外部顧客へ売上高	3,173,639	15,908	1,671,479	520,213	5,381,241	—	5,381,241
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	205	47,302	410	47,917	△47,917	—
計	3,173,639	16,113	1,718,782	520,623	5,429,159	△47,917	5,381,241
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	62,023	△1,371	176,935	56,394	293,982	△30,247	263,734

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. セグメント利益の調整額△30,247千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△127,764千円及びその他調整額97,516千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。その他調整額は、主にセグメントに帰属しない持株会社に対する経営指導料等の消去であります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

「ウェブソリューション事業」につきましては、2019年7月1日より、同事業を単独で営んでおりました株式会社エッジクルーの全事業を株式会社パディネットに事業移管を行いました。その結果、第2四半期連結会計期間以降は、「ウェブソリューション事業」は「通信コンサルティング事業」に統合されますが、第1四半期連結会計期間までは存続していたため、当該期間までの実績を報告セグメント上「ウェブソリューション事業」に記載しております。